

楽しく美しい まちづくり通信…⑤⑩



気合を込めて、しぶきをふりかける宮司

無病息災を祈る

春の神事

神前にすえた大釜に湯を煮え
たぎらせ、笹を浸しては振って
そのしぶきを浴び、しぶきで身
体を清め、無病息災・家業繁栄
を祈願するのが湯立です。湯立
の釜の湯をかけてもらおうと疫病

除けや田の虫除けになるともい
われています。香稻荷神社の
湯立は元禄年間（一六八八〜一
七〇四）より続けられており、
現在は毎年五月二日に行われ
ています。

宮司は湯立の前一週間は、精
進の生活に入ります。五感を鋭
くし、神経をとぎすますことが
できるように、肉や魚を断ち植
物食にします。不浄を嫌うの
で肉親を亡くした人は一年間は
忌みの期間として参拝しないと
いいます。

湯立の祭場は一間×二間、四
方に青竹を立てしめなわを張り
ます。この中は神が占有する清
浄な区域であり、清めた砂をま
いて素足で入ります。祭壇には
神が宿るための金属製の幣束の
ほか、場を清めるための道具が
置かれています。湯立に先立っ
て社殿内で神事を行い、その間
に薪に点火します。社殿内の神
事の後、祭場で参拝者の見守る
中、願い主の名を読み上げなが
ら護摩を焚きます。一年の祈願
のために祝詞を読み上げた後、
火を鎮め清めるための儀式が行

われます。気合いを掛けながら
八方祓いの意味も込め、清めの
塩を釜のツバ、ハカ所に置きます。
音声を発して魔を祓い自分の気
を込め、さらに「トウカミ エ
ミカミ ハライタマエキヨメタ
マエ カンナガラ カンナガ
ラ」と唱えながら、火打ち石で
火を切って場・釜・湯を清めて
いきます。続いて水と風が清め
られます。次には弊所で釜の湯
をかきまわし同じように清めま
す。

そして、ササを釜の湯の中に
入れ宮司がその湯を浴び、釜の
湯をササの葉を通してかぶって
も大丈夫だということを示
すために神殿に参拝します。そ
れを二度繰り返した後、今度は
参拝客にも湯が振りかかるよう
にササを湯に入れては上空に振
りあげ、その湯を浴びて無病息
災を祈るのです。神事が終ると
参拝者は神事に使用したササや
湯を貰って帰ります。ササはみ
そを作る時にみそがきれいにな
る・毒を抜く、といって使われ、
無病息災になるともいいます。
「湯立は湯が煮立つまでやった
方が真剣になり事故も少ない。
火・湯を鎮めるのにも力が入る
し、気が入る」と小保内宮司は
話しました。

2よみ



6月11日～7月10日

★6月★

- 11日(水) 入梅
- 12日(木) 市民生活相談(市役所市民相談室)
- 13日(金)
- 14日(土)
- 15日(日) 父の日
- 16日(月)
- 17日(火) 4カ月児健康診査(市保健センター)
- 18日(水) 海外移住の日
- 19日(木) 法律相談(市役所市民相談室)、2歳児歯科健診(市保健センター)
- 20日(金)
- 21日(土) 夏至(二十四節気)
- 22日(日)
- 23日(月) 沖縄慰霊の日
- 24日(火) 1歳6カ月児健康診査(市保健センター)
- 25日(水)
- 26日(木) 国連憲章調印記念日、税務巡回相談(市保健センター)
- 27日(金)
- 28日(土)
- 29日(日)
- 30日(月)